

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375700693
事業所名	グループホーム「よつ葉」

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 開所以来、利用者の今までのつきあいを継続する支援をする中で積極的に事業所の外に出て行くことで、事業所を基点にしたつきあいも広がっている。地域行事には利用者と職員とが一緒になって参加している。また事業所でのクリスマス会には参加する地域サロンで来所を呼びかけている。傾聴やコーラスのボランティア、実習生や職場体験の受け入れもしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年に6回、地域代表や町の担当者などの参加を得て開かれ、事業所の様子を伝えたり、地域の情報を得る機会としている。また、火災訓練の報告をした時に、誘導体制や事業所から外に出るための持ち物や通路の確保について質問があり、事業所の体制について話すとともに再確認の場となった。また事業所近くの方の避難路の確保について議題があり、考えるきっかけとなった。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 町の包括ケア会議には定期的に参加している。また今年度は機会がなかったが広域連合での研修があれば職員が参加している。地域のグループホーム同士の連携や研修にも参加している。 町の文化展参加は利用者の特技ややる気を引き出す上でとても役立っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会はないが、家族同士が事業所でバイキングや旅行で集まり話す機会がある。また新聞も発行されており、利用者の様子や認知症についての情報がわかりやすく伝えられている。運営推進会議や面会時に職員は家族と話すことで意見や要望をきき、支援計画に組み入れている。利用者が自分の「思いを書くとこがあれば」とつぶやいたことから思いつきやちよつとしたことを書きこむコーナーを設置する計画がある。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	×	×	○	○	○	○			